

提 案 理 由 説 明

平成29年 9 月 6 日

1. 各種報告について

本日ここに第3回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

まず、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

(1) 市政運営について

7月1日に副市長を選任しまして、また、8月1日に人事異動を行い、課長が空席となっておりました課に所属長を配置しまして、市の体制が整ったところであります。

7月13日には、広瀬大分県知事に政策協議の機会を設けていただき、農業振興、観光振興、基盤整備、教育の4項目について協議をいたしました。

具体的には、白ねぎの産地拡大のための畑地化、西国東地区の堤防改修の国直轄事業採択に向けた要望、六郷満山開山1300年の効果的なPRの取組など大分県と連携して進めてまいることを確認いたしました。

市政の課題に対し、広瀬知事から、県のご支援をいただける旨のお言葉もいただきまして、大変心強く、スピード感を持って全力で取り組んでまいる所存であります。

次に、私の公約の進捗状況であります。

まず、人口増施策であります。そのうちの「子育て支援の充実」につきましては、第2回定例会でもご説明申し上げましたように、私は「高校までの医療費の無料化」、そして、「小中学校の給食費の無償化」を他市に先がけ実施いたしたいと思っております。

これに伴う財政支出は、将来を担う子どもたちのための「未来へ

の投資」であり、また、豊後高田市の「発展のための投資」であります。

今回、「高校までの医療費無料化」につきまして、来年4月1日からの制度開始に向け、子ども医療費の助成対象を拡大する条例改正案を提案いたしております。

また、システム改修等の実務的な準備も、議決後すぐに取りかけられるようにしているところでございます。

そして、新たな観光振興につきましては、8月3日に「石造文化を活用した誘客促進事業検討委員会」を立ち上げまして、専門家の意見もお聞きしながら、来年1月をめどに基本コンセプトを取りまとめる予定でございます。

次に、温泉の活用についてであります。

市内の6つの温泉の質の良さは、科学的な分析結果で専門家のお墨付きであります。特に、世界的に有名なダイエットウォーターの硬度を上回り、世界屈指の超硬水が湧く花いろ温泉につきましては、「ダイエット温泉郷」としてPRできないかと思いを巡らせているところでございます。

さらに、周辺自治体の温泉施設を合わせますと、本市は市内のどこからでも、おおむね7分程度の短い時間で温泉に行くことができる贅沢な地理的特性があります。このことを市民の皆さんにも知っていただきたいと思っておりますし、観光面ではもちろん、健康づくり、移住・定住対策でも本市の売りの一つとして大いにPRしてまいりたいと考えております。

(2) 防災対策について

次に、防災対策であります。

まず、本年7月の、九州北部豪雨災害により亡くなられた方に対しまして、追悼の意を表しますとともに、今なお避難生活を余儀なくされております皆様方に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。

ます。

また、自治委員の皆様をはじめ、市内事業所や各種団体等多くの市民の皆様が義援金等被災地への支援活動に取り組まれておりますことに敬意を表し、感謝申し上げます。

この豪雨災害では、大分県で初となる「大雨の特別警報」が発令されまして、本市でもJアラートによる自動放送とエリアメール・緊急速報メールが流れました。

また、7月7日には、大雨により高田地区及び真玉地区において土砂災害の危険性が高まりましたことから、本市では初めての「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、屋内・屋外放送及び緊急速報メールで、市民の皆様にお知らせをしたところであります。

しかしながら、屋内・屋外放送の音声がかたうまなく流れず、市民の皆様にはご心配をおかけしたところであります。

幸い、大きな被害はなかったものの、市民の皆様への情報伝達について課題を残したところであります。

毎年のように、全国各地で自然災害は発生し、重大な被害が出ております。

まさに「災害はどこでも普通に起こるもの」として、日頃からの備えに万全を期してまいり所存であります。

(3) 映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の公開について

次に、映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」の公開についてでございます。

市民の皆様にご協力をいただき、本年2月に市内各所で撮影が行われました映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」が完成しまして、いよいよ今月23日から全国320を超える映画館で公開されます。

この映画をご覧いただき、聖地巡礼として多くの方に豊後高田市にお越しいただきたいと思っております。

私も、大変楽しみにしています。

全国公開に先立ちまして、特別試写会を9月16日に開催します。

8月21日からチケットをお渡ししましたが、初日でほぼ満席となりまして、この映画に対する、市民の皆様の関心が高いことを大変うれしく思っております。

また、中央通りの井ノ口マーケット跡に「ナミヤ雑貨店」を再現しまして、試写会と同じ16日から映画公開日の23日までPRイベントも予定しております。

今後におきましても、映画などのロケ誘致にしっかりと取り組んでまいります。

(4) 「豊後高田 昭和の町」 2017アジア都市景観賞について

次に、「昭和の町」に関するうれしいご報告をさせていただきます。国連ハビタットなどが主催します「2017アジア都市景観賞」に「豊後高田昭和の町」が内定いたしました。

「昭和の町」は、これまでも数々の賞をいただいておりますが、中国、韓国、東南アジア諸国などの国外も対象とした賞は初めてのことでございます。

「昭和の町」が世界に認められるまでになったことに、市長として、また、豊後高田市民として大変誇りに思います。

関係者の皆様のごこれまでのご労苦に敬意を表したいと思います。

この受賞を契機に、国内はもちろんのこと、アジア諸国からも注目されると思っておりますし、観光をはじめ色々な波及効果も期待しております。

今後におきましても、商店街や商工会議所と連携を図りながら、「昭和の町」の更なる魅力アップを図ってまいります。

(5) 子どもたちの活躍について

また、子どもたちの活躍も、報告させていただきます。

今年度の大分県学力調査の結果につきましては、小中学校ともすべての教科で大分県平均値を上回っており、県内トップクラスを維持しております。

さらに、全国学力調査の結果につきましても、県内上位を維持するものと思っています。

また、スポーツでは、新聞でご存じの方も多いと思いますが、大変多くの素晴らしい成績をおさめています。

小学校では、野球が県大会と九州大会で優勝、中学校県体では、野球が優勝、柔道が団体男女ともに優勝、柔道個人は優勝が7人、2位が5人、サッカーが2位、九州大会では、柔道が男子団体で3位、個人で女子2位が1人、3位が男女あわせて4人、カヌーでは中学生がジュニア大会等で優勝、高校では、空手道が女子個人組手で全国高校総体に出場、また、高田高校カヌー一部男子が高校総体県大会では全6種目で優勝し総合優勝、九州大会でも、カナディアン・シングル、カナディアン・フォアで優勝ほか上位を占めての総合優勝、全国高校総体でも、カナディアン・フォア200mで優勝、同500mで2位など、多くの上位入賞により総合3位であります。

日本カヌースプリントジュニア選手権大会では、カナディアン・フォア500m及び同200mで1、2位を独占。カヤックペア500m及び同200mで2位、カヤック・シングル200mも2位の成績であります。さらに、3名が世界大会出場という大変素晴らしい結果を残されました。

また、第7回全国高校生そば打ち選手権、通称「そば打ち甲子園」に「高田高校そば打ちチーム」が初出場いたしまして、全国のそば産地の強豪校とそば打ちの技術を競いました。

入賞はかないませんでしたが、本市の代表として全国大会に出場し、そば産地としての豊後高田市をPRしていただいたことに感謝しております。

子どもたちが活躍すれば、我々大人も元気になりますし、市全体の活気となります。

今後益々の活躍を期待しておりますし、我々大人も負けないよう

に頑張りたいと思う次第であります。

2. 提出議案等の説明

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

(1) 予算関係

第37号議案の平成29年度一般会計補正予算（第3号）につきましては、4億4,151万8,000円の増額補正で、補正後の予算総額は146億1,226万5,000円となります。

補正予算の主な内容につきましては、まず、総務費では、前年度の決算剰余金に係る法定積立やマイナンバー制度に対応するためのシステム改修に要する経費等を計上しています。

民生費では、真玉・香々地地域における子育て支援の拠点整備に要する経費等を計上しています。

衛生費では、子ども医療費無料化の拡充に向けたシステム改修や骨髄移植のドナーを支援するための経費等を計上しています。

労働費では、外国人技能実習制度の活用に向けた体制づくりを支援するための経費を計上しています。

農林水産業費では、乳用牛や肉用牛の飼育、椎茸の生産、有害鳥獣対策などに対する助成経費や西国東地区の堤防改修の国直轄事業採択に向けた協議会への負担金等を計上しています。

商工費では、見込みを上回る移住者の創業予定に対応するための各種補助金の増額、企業の増設や設備投資に対する奨励金の増額、簡易宿泊業を営むための施設改修に対する助成、観光施設の補修や環境整備に要する経費等を計上しています。

教育費では、全国・九州中学校体育大会への出場費の助成や「天念寺耶馬及び無動寺耶馬」の名勝指定に伴うシンポジウムの開催、真玉B&G海洋センターのプールの設備改修に要する経費等を計上しています。

第38号議案の平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、210万円の増額補正で、宅地造成に伴う公共下水道枝線延伸工事に要する経費を計上しています。

補正後の予算総額は、6億4,764万8,000円となります。

第39号議案の平成29年度漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、64万7,000円の増額補正で、住宅新築に伴う公共汚水柵の設置に要する経費を計上しています。

補正後の予算総額は、1,264万円となります。

第40号議案の平成29年度ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、2億1,973万円の増額補正で、告知端末等の機器の更新に要する経費を計上しています。

補正後の予算総額は、7億3,130万6,000円となります。

（2）決算関係

次に、第45号議案及び第46号議案の平成28年度の各会計における決算についてご説明申し上げます。

一般会計決算の概要についてでございますが、歳入総額は151億8,847万8,922円、歳出総額は145億9,147万8,426円でありまして、平成27年度に新庁舎建設事業が完了しましたことから、前年度と比べ歳入歳出とも大幅に減少し、最終的な実質収支は5億3,916万9,496円の黒字となっています。

普通会計における経常収支比率は92.6%であり、普通交付税の減などの影響により、前年度と比べ3.5ポイント上昇しています。

市債残高は約192億4,000万円で、前年度から約2億4,000万円減少しています。

また、3月末の全基金の残高は約122億4,000万円で、前年度から約10億7,000万円増加しています。

そのほか、報第10号及び報第11号で報告しておりますとおり、実質公債費比率は7.5%と、前年度と比べ0.8ポイント減少し、早期

健全化基準を下回るものとなっておりますし、各会計における資金の不足もなく、健全経営に努めてまいったところでございます。

なお、各会計の詳細につきましては、平成28年度の「豊後高田市歳入歳出決算書及び歳入歳出決算事項別明細書」、「豊後高田市水道事業会計決算書」及び「主要施策の成果説明書」のとおりでございます。

(3) 予算及び決算以外の議案等について

次に、予算及び決算以外の議案及び報告についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付していますので、主なものについてご説明申し上げます。

第41号議案の財産の取得につきましては、高規格救急車及び救命処置用資機材一式を取得することについて議決を求めるものでございます。

第43号議案の子ども医療費助成条例の一部改正につきましては、私の公約である「人口増施策」の一つである「子育て支援の充実」として「高校までの医療費無料化」を実現するため、平成30年4月1日から助成対象を拡大し、小・中学生の通院、高校生等の入院及び通院に係る医療費を無料化するものでございます。

第44号議案の立地企業従業員用住宅条例の一部改正につきましては、大分北部中核工業団地の立地企業の従業員の定住促進を図るため、本住宅の使用期間の延長及び使用料の引下げを行うものでございます。

報第8号につきましては、土地貸付料、住宅使用料及び水道料金のうち、回収見込みのない債権、総額248万6,221円について、債権管理条例に基づき債権放棄をしましたので、報告するものでございます。

報第9号につきましては、公用車の事故等に係る損害賠償の額の決定及び示談について、地方自治法第180条第1項の規定に基づき

専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告するもの
でございます。

以上で本定例会に提案いたしました議案等について説明を終わ
りますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し
上げます。